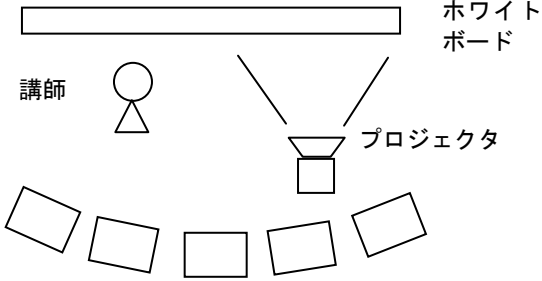


## 学んでみよう「補聴システム」

## 指導計画

	内容	留意事項
教室配置	 <p>ホワイトボード</p> <p>講師</p> <p>プロジェクタ</p>	<p>参加者の席は、お互いの発言が見やすいように、扇型に配置する。</p>
情報保障	<p>手話通訳やパソコンノートテイクは配置せず、講師が受講者と直接コミュニケーションを取りながら進行する。必要に応じて板書や筆談等を交え、確実に情報が伝わるよう留意する。</p>	
進行・展開	<p>○自己紹介・主旨説明（2分） スライドを用いて、参加者全体に研修の流れを伝える。</p> <p>○補聴器マイスターチェック項目の実施（3分） 補聴器に関する知識を問う項目に回答しながら、自分がどの程度の知識を持っているか自己診断を行う。</p> <p>○解説及び意見交換（25分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チェック項目の回答を確認しながら、それぞれのポイントについて解説を行う。</li> <li>・学生の回答を聞きながら、知識や情報のある学生から話を引き出し、学生同士の情報交換につなげる。</li> <li>・説明を行うポイントは以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 補聴器の仕組み</li> <li>▶ 補聴器メーカーに関する情報</li> <li>▶ 補聴器用電池に関する知識</li> <li>▶ 補聴器の管理に関する知識</li> <li>▶ 補聴器の機能についての知識</li> <li>▶ きこえに関する情報</li> <li>▶ 故障時の対応</li> <li>▶ 補聴器店の選び方に関する情報</li> <li>▶ 福祉制度に関する知識</li> </ul> </li> </ul>	
指導教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライド資料</li> <li>・補聴器マイスター診断（チェックリストと解説）</li> </ul>	